

児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議 議事録

1. 日時

平成 31 年 2 月 8 日（金）午前 8 時 45 分～午前 8 時 55 分

2. 場所

総理大臣官邸 4 階大会議室

3. 出席者

安倍内閣総理大臣、菅内閣官房長官、根本厚生労働大臣、宮腰内閣府特命担当大臣、片山内閣府特命担当大臣、山本国家公安委員会委員長、石田総務大臣、山下法務大臣、柴山文部科学大臣、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、和泉内閣総理大臣補佐官、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、濱谷厚生労働省子ども家庭局長

4. 議事内容

【根本厚生労働大臣】

ただ今から、「児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議」を開催いたします。

千葉県野田市の事案について、このような形で子どもが亡くなったことは誠に残念であり、心より御冥福をお祈り申し上げます。

子どもの命が失われる痛ましい事件が繰り返されないよう、関係閣僚会議を開催し、昨年 7 月に「緊急総合対策」を取りまとめました。にもかかわらず、再び痛ましい事案が生じたことから、政府全体として、今回の事案における課題を踏まえ、必要な対策を講じるため、関係大臣にお集まりいただきました。

今回の事案について、現在把握する範囲で申し上げれば、一昨年の 11 月に小学校より野田市へ虐待通告があり、児童相談所が一時保護を開始、その翌月に親族宅での生活を条件に一時保護を解除、昨年の 1 月に野田市教育委員会が児童の書いたアンケートのコピーを父に手渡し、児童相談所のリスク判断が不十分なまま、3 月に親族宅から実父母宅へ転居、その後は、児童相談所が家庭訪問を行わず、本年の 1 月から小学校を欠席、安全確認されないまま、1 月 24 日に死亡し、両親が逮捕されたものです。

現時点で把握する事実関係を踏まえ、「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」の更なる徹底・強化について」（案）を本会議で決定したいと考えております。

お手元の資料をご覧ください。緊急総合対策の緊急点検を実施し、児童虐待防止対策に関する関係府省庁連絡会議においてその点検結果を共有します。具体的には、在宅で指導している全ての虐待ケースの緊急的な安全確認を行います。次に、子どもの安全を第一に、通告元の秘匿の徹底や、威圧的な保護者に対する関係機関の共同対処に関

する新たなルールを設定します。最後に、新プランに基づく体制強化を図るとともに、児童福祉法等の改正法案の今国会への提出に向けて取り組みます。なお、本事案に関しては、関係府省庁連絡会議において徹底的に検証・検討し、その結果を踏まえて更なる対策に取り組みます。

続いて、柴山文部科学大臣からご発言をお願いします。

【柴山文部科学大臣】

文部科学省といたしましては、被害児童が回答したアンケートの写しを市教育委員会が保護者に渡していたことは、極めて不適切な対応であると考え、2月1日に担当室長を野田市教育委員会に派遣し、事実関係の確認及び口頭での行政指導を行ってまいりました。

虐待の可能性のある事案に関する情報管理については、今後、学校・教育委員会が適切に対応できるよう、厚生労働省と連携し、必要な対応を図ってまいります。

また、当該事案に関する学校、教育委員会等の対応について、緊急に課題の検証を行い、具体的な再発防止策を検討するため、本日、省内タスクフォースを設置するとともに、浮島文部科学副大臣に大口厚生労働副大臣とともに野田市を訪問していただくことといたしました。

さらに、今回のような虐待が疑われるケースについて、速やかに緊急点検を実施いたします。厚生労働省とは事実関係をしっかり連携して確認しつつ、関係府省庁とも緊密に連携しながら、児童虐待の防止に努めてまいります。

【根本厚生労働大臣】

ありがとうございました。それでは、「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」の更なる徹底・強化について（案）を本閣僚会議の決定としたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と声あり）

【根本厚生労働大臣】

御異議がないようですので、原案のとおり、本閣僚会議の決定といたします。

それでは、プレスが入りますのでお待ち下さい。

（プレス入室）

【根本厚生労働大臣】

最後に、安倍内閣総理大臣から御発言をお願いします。

【安倍内閣総理大臣】

今回、心愛さんからは、必死の思いでSOSの声が発せられていました。幼い女の子が、どれだけ勇気を振り絞って、あの訴えをしたのかと思うと、本当に言葉を失い

ます。

子供たちを守る砦となるべき、学校、教育委員会、児童相談所や周りの大人たちが、心愛さんの悲痛なSOSの声を受け止めてあげることができなかった、幼い命を守れなかったことは本当に悔やんでも悔やみきれない思いです。

痛ましい虐待事件を繰り返してはならない。この強い決意の下、新たな対策をただ今、取りまとめました。

これに基づき、現在把握している全ての虐待ケースの1か月以内の緊急安全確認、子供の安全を第一に、通告元は一切明かさない、資料は一切見せないという新たなルールの設定、威圧的な保護者に対する複数機関での共同対処ルールの設定、児童福祉司の来年度1,000人増員などの体制の抜本的強化など、厚生労働省を始め、各府省庁にあっては、直ちに実行に移してください。

根本大臣を中心に各大臣においては、子供の命を守ることを最優先に、あらゆる手段を尽くし、やれることは全てやるという強い決意で、児童虐待の根絶に向けて、引き続き検討し、総力を挙げて取り組んでください。

【根本厚生労働大臣】

ありがとうございました。それでは、プレスの方は御退出をお願いいたします。

(プレス退室)

【根本厚生労働大臣】

それでは、これで本日の会議を終了いたします。

以上